

ドローン及びスターリンク（可搬式）の実証実験の実施について

1 要旨・目的

令和6年能登半島地震において顕在化した課題等を踏まえ、孤立集落支援におけるドローン及びスターリンク（可搬式）の活用にあたっての手順等を、実証実験により確認する。

2 現状・背景

令和6年能登半島地震では、孤立集落が広範囲に多数発生した中、

- ・ ドローンを活用した孤立集落への支援物資等の輸送
- ・ 孤立集落との通信手段確保のためのスターリンク（可搬式）の活用

が行われ、有効性が確認されたことを受け、広島県においても、これら資機材の活用に向けた実証実験等を行うこととしている。

3 概要

(1) 実施主体

広島県・竹原市

※その他、地域住民・ドローン関係企業・通信事業者と連携して実施する。

(2) 実施日時

令和6年10月19日（土）9時30分～11時00分

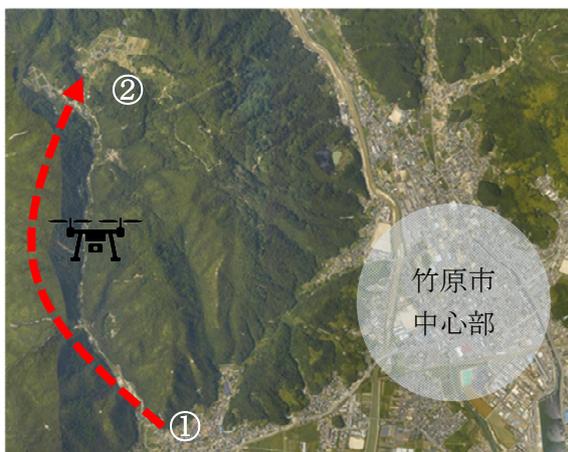
(3) 場所

竹原市下野町（すくね宿根地区、大井地区）

※宿根地区は、平成30年7月豪雨と令和3年7月豪雨で孤立した地区。

(4) 実施内容

ドローンを活用して、近傍の輸送拠点（大井地区：①）から宿根地区（②）に救援物資を輸送する（片道：約3.5km）とともに、スターリンク（可搬式）を宿根地区に設置し、通信環境を確認する。



4 その他

今回の実証実験を踏まえ、作業内容や運用上の課題等を確認・整理した上で、円滑な運用につながるようマニュアル等を作成し、これに基づいた訓練を実施する。